

(注)「海岸タイプ」・「短尺タイプ」の折り込みは片側のみとなります。  
苗木に被せる際は、折り込み部が上になるようにしてください。

## ヘキサチューブ設置方法

### ヘキサチューブの設置作業

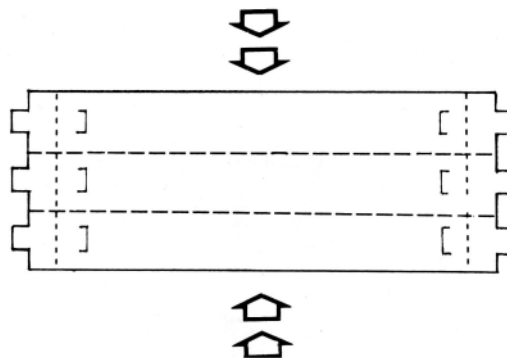
- 苗木を植栽する
- ヘキサチューブを組み立てる
- ヘキサチューブにリングを取り付ける
- 専用支柱杭を設置する
- 専用支柱杭とヘキサチューブ（リング取り付け済み）を結束する

以下にそれぞれの工程について詳しく説明いたします。

### ：ヘキサチューブの組み立て方

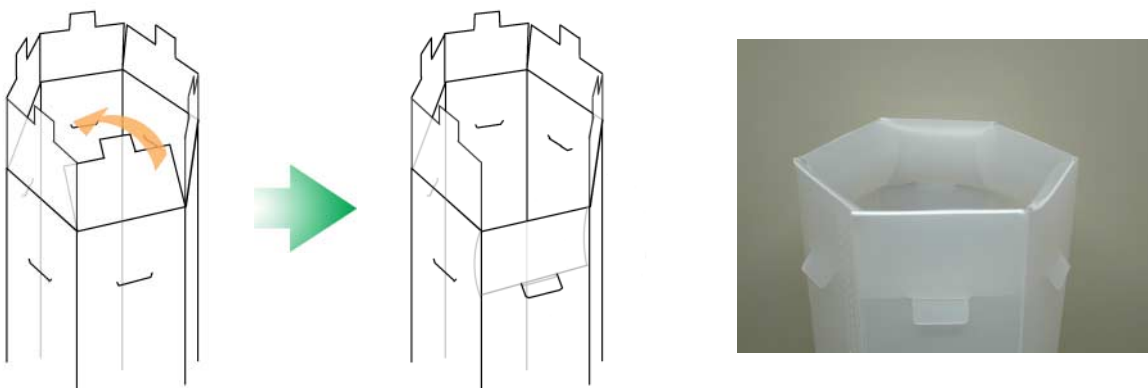
#### (1) 六角筒にする

ヘキサチューブは、筒状に成型されたシートが折りたたまれて板状になっています。  
六角筒にするために、まずは折り目をヘキサチューブの両側から押して形を整えます。



#### (2) 折しろを内側に折り込んで、切れ目に挿し込む

チューブの両端にある6枚の折しろを順次チューブ内側に折り込み、凸部を挿込用の切れ目に挿し込みます。  
(凸部を挿込用の切れ目に挿し込んだ後は、凸部がチューブの外側に出た状態になっています。)



上下の全ての折しろを折り込み、切れ目に挿し込めば、ヘキサチューブの組立は完了です。

折しりを外側に折って組み立ててしまうと、成長した苗木がチューブの上端に当たり、幹に傷がついてしまいます。



✕ 外に折込はダメ

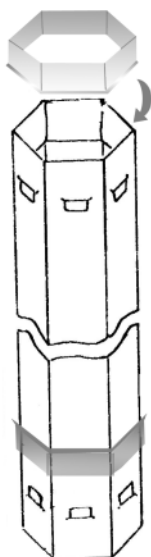


内側に折り込む

## ：ヘキサチューブにリングを付ける

### (1) リングを取り付ける

リングを2個、つば状に反っている方からチューブに挿し込み、上下2箇所に取り付けます。



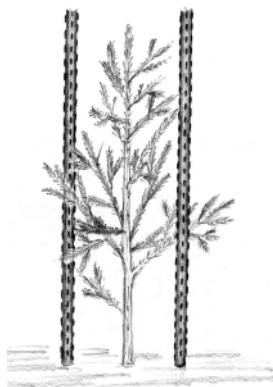
## ：植栽木にチューブを設置する

### (1) 支柱を打ち込む

ヘキサチューブ1本につき2本の支柱を使用します。

支柱はチューブ法にとっての大黒柱です。しっかりと打ち込んで風や雪に耐えられるようにします。

苗木から5～7cm離れたところに支柱を立てます(通常は等高線方向に2本立てます)。

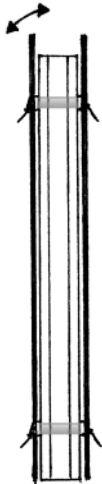


支柱杭がぐらつかないようにするまで打ち込んでください。

(手で地面に差込むだけではなく、必ず木槌などで打ち込んでください。)

目安として、打ち込んだ後の高さが、チューブと同じくらいかチューブよりも10cm程度低くなる程度まで打ち込んでください(30cm以上打ち込む)

場所によってはそれ以上深く打ち込む必要があります。



**×** チューブがぐらつく  
打ち込み不足



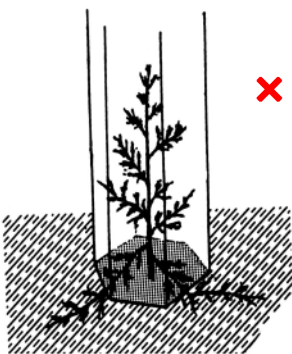
30cm 以上打ち込む

## (2) チューブを苗木に被せる

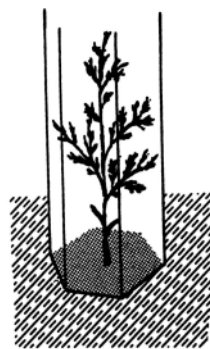
チューブを苗木に被せます。

ヘキサチューブに天地はありません。どちらを上にしてもかまいません。

被せる際には、苗木がチューブからはみ出さないようにしてください。  
(シカなどに引き出される恐れがあります。)



**×** 苗木がはみ出している

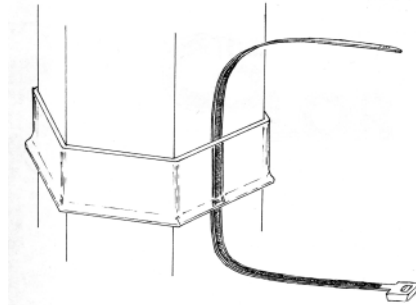


### (3) チューブを支柱に固定する

固定ひもでリングと支柱を縛り付けて固定します。

固定ひもをヘキサチューブとリングの間に挿し込みます。

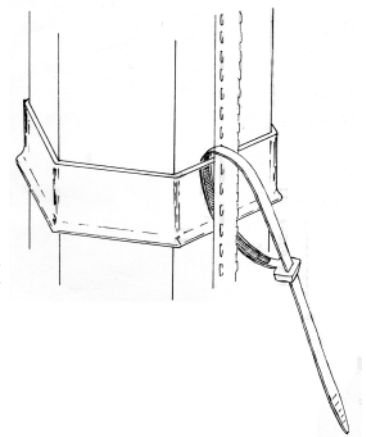
注) 固定ひもには裏表があるので注意してください。裏表を間違えるとひものストッパーが効きません。



右下図のように固定ひもの先端を穴に通して、強く引っ張ります。

支柱とリングをしっかりと固定してください。

支柱の上端ぎりぎりでは結束すると固定ひもが外れる恐れがあるので、支柱の上端から 10 ~ 15cm のところで縛ってください。



(3) 支柱とリングを全て固定ひもで縛り付けて完成です  
(上下各 2 箇所：計 4 箇所の結束が必要)



チューブの折しろは上下とも内側に折込まれていますか？  
支柱はぐらつきませんか？  
リングと支柱はしっかりと固定されていますか？  
枝がチューブからはみ出していないですか？